**タイトルはここに：ＭＳゴシック14 pt-bold**

講演番号記載欄

**※提出時にはこの部分（枠・文字）を削除してください。**

(△△大)　○(学)化工花子・(正)化工太郎\*・(部)部会三郎

**１．全般的な注意点（ＭＳゴシック；10 pt）**

　本文はこちらから（ＭＳ明朝；10 pt）。

表（例）

　二段組み。本文部分49行。行間隔固定値13 pt。

　24文字／段×49行×2段＝2352字が基本。

　段間隔6 mm以上。段落冒頭は一字下げ。

　一行あたりの文字数、文字間隔、行数等には厳密にはこだわりませんが、見易さを考慮してください。

　このフォーマットに文字を流し込むと大凡標準的な書式となります。

　なお、用紙全体のマージンは以下の通り。

　　上／下　23 mm

　　左／右　19 mm

　用紙左上に講演番号を実行委員会にて自動追加しますので、記載欄を確実に確保してください。**また、このフォーマットにある「講演番号記載欄」（枠・文字）は、提出時に必ず削除しておいてください。**

　発表者名の会員資格記載例は次の通りです。

　　正会員　　　(正)

　　学生会員　　(学)

　　法人会員　　(法)

発表者が複数の場合は、登壇者の会員資格の前に「○」を付けてください。

　後日、内容について質問を受けていただける方（英語でいうところのCorresponding Author）の名前後ろに\*を付け、用紙右下に連絡用e-mailアドレスを記載してください。

　一般講演の要旨は1ページです。招待講演等、要旨が2ページの場合は、2ページ目は冒頭から記載してください（2ページに講演番号は追記しません）。

**２．ＰＤＦ化時の注意**

　登録可能なファイルサイズは　1229 kB 以下です。

　PDF作成時のPDFバージョンは　1.4以下にしてください。それ以外でPDF化した場合、受取できないか、講演番号等を付記できないという不具合が生じます。厳密なpdf化に留意してください。

　PDF作成時のセキュリティ設定は「無し」としてください。

　PDF作成時のフォントの扱いは、「フォントの埋め込み」をしてください。

**３．図表、写真に関する注意**

　図表、写真は白黒／カラーのどちらでも構いませんが１，２）、印刷物は白黒です（表1）。印刷時に鮮明になる程度に、かつ、ファイルサイズが大きくならないように留意してください（図1）。

**４．登録時の注意**

　表1に示す要旨提出期限までは３）、何度でも「提出」

図（例）

表1　タイトルは番号を付けて表の上に

図1　タイトルは番号を付けて図の下に

（PDFファイルの差し替え）を行うことができます。

　ただし、要旨提出期限後は、提出、訂正が一切できませんので、くれぐれも注意してください。

★PDFファイルのアップロードには、講演申込受理時の受理番号と受理通知に記載されたパスワードが必要です。

**５．特許法に基づく新規性喪失の例外規程について**

特許法第30条2項の規定により、特許を受ける権利を有する者が、本会が主催する大会において公表した講演要旨並びに講演発表内容は、特許法に規定された所定の手続きを経ることによって、公表後6ヶ月以内であれば、該公表によってその発明の新規性が喪失しないものとして取り扱われます。

　講演要旨の公表方法及び公表日は大会によって異なりますが、一般に、web上で公開された時点（公開対象が事前参加登録者に限定されていても良い）あるいは冊子体として公表された時点、のいずれか早い方になります。具体的な日付は、大会webサイトあるいは大会実行委員会にお問合せください。

　口頭発表内容についてその内容を証明する必要がある場合は、その手続について本会webサイトにてご確認ください。

**引用文献**

1) Kako, H. *et al*., *J. Chem. Eng. Jpn.*, **46**, 200 (2013).

2) Kako, T. *et al.*, 化学工学論文集, **39**, 200 (2013).

3) Kako, T and H. Kako, 第15回化学工学会学生発表会（北九州大会）研究発表講演要旨集, p.100 (2013).

----------

\*xxx@yyyy.-u.ac.jp